

子ども未来創造委員会事業計画

子ども未来創造委員会 委員長 小川 直人

激しい変化が予想される社会において、個性を發揮し主体的・創造的に生きることが求められています。今後も急速に変化していく時代に生きる子どもたちには、変化に対応する力を身につけて自らが持つ可能性を引き出すことが必要です。伝統のある芳賀教育美術展は創造美育を通して、創造力を高める機会を提供してきました。しかし、時代の変化によって従来の方で継続することが困難な今こそ、次代に続く環境を作ることが必要です。

まずは、子どもたちが本来持っている無限の可能性を引き出すために、与えられた課題に対して自らの想像力で解決へと導かせる環境を作り、成功体験をしていただくことで、自由な発想をもって変化に対応する力を身につけます。そして、芳賀教育美術展を継続していく新たな環境を作るために、賛同者を募ることで、県東地域で育まれた伝統や教育を地域内外に伝播するとともに、次代に続く環境を創造します。さらに、子どもたちの創造性を發揮する機会を永続的に提供するために、創造美育を通して育った方々とともに運営を行い、LOMの伝統と地域の教育環境を紡ぎます。また、創造美育を通してより積極的に自らを表現していただくために、創造美育に関する知識や子どもたちの創造に至るまでの自発性を促すことの大切さを関係諸団体と地域全体で共有し、子どもたちの個性が溢れる芳賀教育美術展の展覧会を開催することで、この地域における美術教育と芸術環境の向上につなげます。そして、各々のもって生まれた想像力をより育ませるために、他者に認められる機会となる芳賀教育美術展の表彰式を開催し、創造力が豊かな人材で溢れさせます。

急速に変化する時代の中、子どもたちも我々も自由な発想を尊重し合い、変化に対応することのできる可能性を引き出し、県東地域にある美術教育に多様な人たちと新たな価値を生み出し、子どもたちの創造性を發揮する環境を次代へと紡ぎます。もっと熱くなれ。

<事業計画>

1. 子どもの可能性を引き出す事業
2. 第37回芳賀教育美術展運営と次年度以降の方向性の確立
3. 事業で魅せる発信及び会員拡大
4. 全員で動く実働的な会員拡大
5. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加